

フランス・ラルザックの山村 群馬県上野村

世界の中心

絶対的な場所

かかわり合う世界

ローカルな世界

この地域に生まれた自然や歴史、文化、コミュニケーション



自分

分離できない相互性

かかわり合う

確実な自分たちの世界

「我らが世界」

二十世紀の社会

市場経済がつくり出した世界 のグローバル化

アングロサクソンの資本主義の世界化

いつでも他の人々と交換されてしまう労働の社会

交換可能な地域

根無し草 漂流

消費され続ける世界

人間自身が消費されていくように働き、暮らす社会

交換可能な世界

自分の確実な存在を見つけ出せない

市場経済のグローバル化により、日本もあらゆるものが交換可能な世界となっているが、今後の日本はどのような道をとるべきか。理由とともにノート半ページ程度記しなさい。（ノートは1行ごとに記すこと。）